



まがたま

第77号 平成27年2月10日
練馬区立豊玉中学校
〒176-0014 練馬区豊玉南 2-1-20
tel 03(3994)1451 fax 03(5984)2461
E-mail
info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp
URL
<http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

「振り返り」は生き方の基本！

校長 ^い井田 ^{むねひろ}宗宏

校長室の窓から見える木々が、すでに朱色の花を咲き始めようとしています。寒さの中にも、かすかな温かさを実感いたしております。暦の上では立春が過ぎたとはいえ、厳しい寒さが続き、関東地方は、今年になり例年にはない積雪がありました。はやいもので今年度も残すところ2ヶ月を切りました。

保護者・地域の皆様に見守られ、生徒たちは落ち着いた中で、1年間のまとめの時期に入ってまいりました。先日、小中一貫教育の研究グループとしての発表を終えたばかりです。地域の小学校と中学校が手を携え合いながら取り組むことが常に基本であることを考えさせられました。

このことを始め、様々な教育改革が推し進められていますが、その原点は何かと考えさせられることが増えてきました。学校では「子供たちが将来の夢に希望を持ち、多くのことに感動しながら成長することができるよう取り組んでいく。」ことが一層大切になります。『「生きる力」が重要であり、とりわけ、他者と人間関係を築く力が必要となる。』ことを改めて認識しております。本校の多くの保護者の皆様から、学校評価等の中で「人との関わりや思いやりを大切にする教育を豊玉中で進めてください。」という声が聞かれます。

最近、いじめ、暴力等に関わる中学生・高校生・大学生のニュースが増加傾向にあります。実際にここ数週間でも心寒くなる事件が発生しています。このようなことに接するにつけ、子どもたちの成長にとって「豊かな心を育てること」の大切さについて認識を新たにす次第です。

これからは、豊玉中生にも人間尊重にかかわる知識をもっと教えていきたいと感じます。そしてその知識は文字や机上のものではなく、生活に密着したものであるべきだとも思います。是非、ご家庭でも折を見て、子どもたちの生命や人権についてお話しただければと思います。

さて、この1月から2月にかけて、豊玉地区の自治会が主催する「新年の集い」に参加する機会に何度か恵まれました。豊玉にお住まいの皆様の地域への深い愛情を改めて強く感じました。よく「地域の教育力」という言葉が使われることがあります。それは目に見えない曖昧なものとして捉えていました。そして都合の良いように使ってきた気がします。しかし現実には「町会」と言う組織が目に見える教育力として、私たちを支えてくださっているのです。「同窓会」「OB会」等もやはり学校の応援団として大きな力を発揮されております。大きな安心感につながると同時に、感謝の気持ちを抱くようになって参りました。

参加されていた皆様の個別の職種や立場を越えて、多くの皆様が「豊玉の子供たちに立派に育って欲しい。」という願いをお話しされてきました。地域の子供たちを心から愛されている様子がひしひしと伝わってきました。これだけの皆様からご心配いただいているだけに、学校としての役割もしっかり果たさなければならないという気持ちになりました。いよいよ1年間の総仕上げの時期です。今年度を振り返り、生徒たちが、豊玉中で培った人間力（人間として生涯を生き抜く力）を、今後も十分に発揮できますよう、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

働くことの意義について考えた職場訪問!!

■ 1月30日(金)の午後、今年もキャリア教育の一環として、実社会の活動にふれることを通して望ましい職業観を育てることを目的に、1学年で職場訪問を実施しました。

「職場訪問から学ぶこと」

1年職場訪問担当 金澤 美彰

11月より取り組んできた職場訪問の取り組みも、先日それぞれの事業所の訪問を終えました。自分を見つめ、自己の適性や興味ある分野を探りながら、職業の世界へと少し踏み込んでみました。まだほんの入口に立ったところですが、これから進級後の職場体験まで、さらに「働くこと」をテーマに学習に取り組んでいく予定です。訪問に際しては、「思った以上に多くの工夫があった」「楽しく学べた」「皆さんがとても親切に接してくれた」等、多くの生徒が有意義な時間を過ごせたようです。相手への感謝の気持ちを忘れず、それぞれ夢に向かって前進していかれるといいですね。



2月はふれあい月間、いじめ根絶に向けての取組!!

■ 2月は「ふれあい月間」です。生活指導部を中心にいじめ根絶に向けた取組を行っています。

「いじめのない学校へ」

生活指導主任 山下 慎吾

いじめはなぜあるのでしょうか。人は皆違います。その違いを認め、受け入れる広い心があればなくなるのかもしれませんが、しかし、人は弱い生き物ですから、自分と違う物に対して怖がり、嫌がらせをしたりします。それが相手だけでなく自分を苦しめているということに気づかずに・・・「豊玉中学校ではいじめはありません。」生徒会役員が、来年度の新入生の保護者に向けて話した言葉です。全校生徒の中から選んだ『悪ふざけ 一線こえれば 傷になる』という豊玉中学校のいじめ防止標語のもと、いつまでもいじめのない学校であり続けましょう。

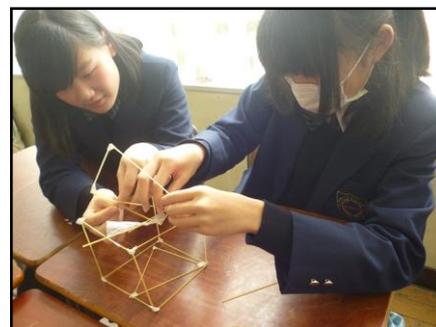
特色ある教育活動を展開しています!!

■ 2学年で、SSTや芸術家派遣授業などの特色ある教育活動を、新たに展開しています。

「コミュニケーション能力の向上」

芸術家派遣授業担当 桑原 宏一

1年の時は、3クラスだった現2年。心も身体も大きくなり、教室では収まりきらなくなった感じがします。そこで、1クラスの数が増えたので、人とのコミュニケーション能力を高められるチャンスと思い、SST（ソーシャルスキルトレーニング）と芸術家派遣授業を行いました。SSTでは心理テストから始まり、目の体操、指を使った2人組のゲームなど、共通点や相違点から仲間を理解する力を育みました。芸術家派遣授業では「影絵」の専門家に直接指導を受け、班で1つの作品を仕上げることをしました。更に、クラスの和が深まりました。



素晴らしい中学生意見発表大会!

■ 2月7日(土)に、練馬区役所多目的会議室にて、青少年育成第一地区委員会主催の第23回中学生意見発表大会が行われました。豊玉中・豊玉二中・開進二中から、各校3名の代表者が選ばれ、本校からは次の2年生3名が参加し、原稿を全て覚えて立派な発表を行いました。

2年A組 鶴谷 理生さん 「未来のために」
2年A組 村田 敬祐さん 「日本のおもてなし」
2年B組 澤田 有希さん 「盲導犬の大切さ」

※その中から一つ（一部抜粋して）を紹介します。

「未来のために」

2年A組 鶴谷 理生

電気を大切にしなければならぬ時代。皆さんはもう、節電というキーワードを知っていますよね。その節電が今の日本にもっと必要だと思います。東日本大震災をきっかけに日本ではテレビや新聞で節電のことがとりあげられています。3月11日に起きたことは、私たちに命の尊さと同時に、電気の大切さも教えてくれました。しかし、それらを学んだ今、何人の人が節電を続けられているのでしょうか。当時は頑張っていたけれど、だんだん簡単には出来なくなってきた、意識が薄れてきてはいませんか。確かに生活に重要な役目を果たしている電気製品はかなり沢山あります。暑い時や寒い時はエアコンをつけるし、テレビも今では習慣となってしまう、つい何気なくつけてしまいます。…(中略)…より良い未来のために。次は皆さんも一緒に社会に協力しましょう。きっと結果はついて来ますから。